

Press Release

【報道関係各位】

2017 年 12 月吉日

ポーラ美術館

開館以来初！エミール・ガレの名品 130 点が箱根に集結  
ガラスの中に閉じ込められた「神秘の森」と「驚異の海」



《水差「ギアナの森」》1903 年頃  
個人蔵



《花瓶「海馬」》1901-1903 年  
北澤美術館蔵



《蜻蛉文脚付杯》1904 年頃  
ヤマザキマザック美術館蔵

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）は、2018 年 3 月 17 日(土)～7 月 16 日(月・祝)に、開館以来初となる、エミール・ガレ(1846-1904)の展覧会「エミール・ガレ 自然の蒐集」を開催いたします。

ガレは、ガラス工芸の分野におけるフランスのアール・ヌーヴォーの旗手として知られており、植物学、生物学、そして鉱物学といった博物学的な知識を駆使して作品の製作に取り組みました。

ガレの工房の扉には「わが根源は、森の奥にあり」という言葉が掲げられていました。ガレにとって植物の繁茂する「森」は、インスピレーションの源であり、生命の神秘を象徴する存在として欠かせないものでした。また、ガレが関心を寄せたもう 1 つの自然が「海」です。ガレは、クラゲやヒトデ、タツノオトシゴなど、美術ではあまりとりあげられてこなかったモチーフに着目し、時にはグロテスクにさえ見える海の生き物をデザインとして取り入れています。

本展では、ガレの芸術を初期から晩年まで辿りながら、「森」と「海」というふたつのキーワードを通して、ガレによる自然の蒐集行為を検証します。

#### ■展覧会概要

会期：2018 年 3 月 17 日(土)～7 月 16 日(月・祝)（会期中無休）

開館時間：9：00～17：00（最終入館は 16：30）

主催：公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館

特別協力：東京大学総合研究博物館

所在地：〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285 TEL：0460-84-2111

リリースデータのダウンロードはこちら：<http://www.polamuseum.or.jp/news/pressrelease/2017/2017122202/>

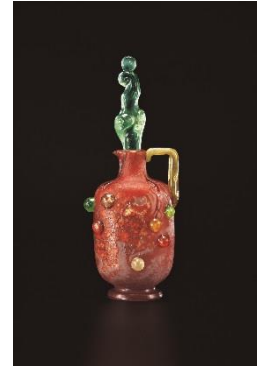
☆展覧会公式サイトは 2 月中旬公開予定

## ■みどころ

### 1.国内のガレ・コレクション 130 点を展示 モネの絵画も堪能できる

日本には世界に誇るガレ・コレクションを有する美術館が数多く存在します。全国の美術館から約 70 点を借用し、ポーラ美術館のコレクションから厳選した 60 点のガレ作品とあわせて、およそ 130 点を展示します。さらにモネ《睡蓮》などの絵画と併せて展示し、分野を超えて隆盛した芸術運動や時代背景もご紹介します。

《葡萄文栓付瓶》1900 年 サントリー美術館 ©TAKESHI FUJIMORI



### 2.『海底二万里』が書かれた時代 たくさんの好奇心を集めた「海」をご紹介

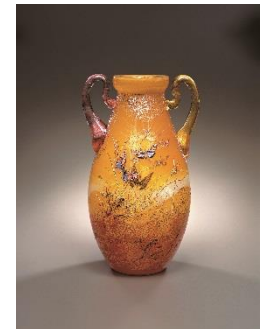
ガレは晩年、海をテーマにした作品を多く製作しました。この時代、『海底二万里』のベストセラーにみられるように、海底探索船やダーウィンの進化論によって海洋学が大きく進展し、海への関心が高まりました。ガレもまた、神秘的な生命の源として海に深い憧憬を抱き、アール・ヌーヴォーの特徴である曲線美とも呼応するユニークな海の生き物の姿をモチーフに取り入れ、ガラス工芸の芸術性を高めました。 《くらげ文大杯》1898-1900 年 サントリー美術館蔵（菊地コレクション） ©TAKESHI FUJIMORI



### 3.ガラスでできた植物図鑑 博物館のようにモチーフを楽しむ展示やイベント

植物学や生物学に精通していたガレは、さまざまな自然のモチーフを精緻に写しとり、自らの芸術に取り入れました。本展では、博物学の視点からガレの作品を楽しむ展示の趣向やイベントをご用意します。東京大学総合研究博物館所蔵の標本資料の展示のほか、さかなクン(東京海洋大学・名誉博士/客員准教授)や、植物の美しさを提案する植物屋「叢 - Qusamura(くさむら)」店主、小田康平氏のトークイベントを通じて、普段の「美術館」とは一味違った体験をご提供します。

《草花文耳付花器》1895 年頃 ポーラ美術館



## ■入館料

	個人	団体(15 名以上)
大人	1,800 円	1,500 円
シニア割引(65 歳以上)	1,600 円	1,500 円
大学・高校生	1,300 円	1,100 円
中学・小学生	700 円	500 円

\*料金はいずれも消費税込み

\*中学・小学生の入館については、土曜日は無料

\*中学・小学生が授業の一環として観覧する場合、  
中学・小学生および引率教員等の入館は無料

### <報道関係者お問合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当: 中西、平澤 TEL:0460-84-2111/ FAX:0460-84-3108/ MAIL:pr@polamuseum.or.jp

ポーラ美術館広報事務局: 屋木、名取 TEL:03-4570-3172/ FAX:03-4580-9155/ MAIL:polamuseum.pr@prap.co.jp